



雪

行政部会 牛山 孝友

「かあさんのぬくもり伝う 囲炉裏ばた」

こんな感じを連想させる冬景色です。ふるさと信州に想いを馳せておふくろの味をなつかしむ心持ちがします。

雪といえば白い・寒い・つめたいなどと連想させますが、草や木の内に秘めた力を感じとることもできて、やがて訪れる春の日差しを恋しく、期待の心に胸を躍らせるおもいがあります。

悠久の自然、地球的規模で環境問題が問われている今、四季はめぐりそのめぐりの中で風景の移り変りの何と変化に富むことか。こうしためりはりのある時の流れが、何とも好きである、しあわせだ。

島崎藤村の随筆の一篇にこんな表現がみられる

——何が白いと言っても、雪の白さに比ぶべきものはちょっと見当らない……あの白さは人間世界以外のものだ。見れば見るほど引き入れられる……きびしい霜とも違って、むしろ平和な感じを与えるのもまた雪だ。何と言っても雪のおもしろさは、一切の光景を変えて見せるほどのものでありながら、それが何所ともなく消え去っていくところにある。その跡には土の肌も顕われ、大地はほほえみ、人も草も木も共に活き返るような心地を起させる——

平成2年 新春所感

平成二年 新春所感

変革の時代を迎えて

会長 藤巻 一雄

明けましてお目どうございます。会員の皆様にはご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昭和から平成へ、八十年代から九十年代へ、二十一世紀を目前に社会の趨勢は大きな変革の時代を迎えつつあります。昨年はリクルート事件で年が明け、政官財界を巻き込んだロッキード事件以来の贈収賄事件や消費税の強行採決など政治不信を増幅させ、一般庶民が政治に関心をもち、参議院選挙では消費税の反対と政治改革を求める意思表示を示し同時に女性議員の進出も目覚しく、いわゆるマドンナ旋風も吹き荒れました。経済の好調に支えられたとは言え、女性の社会進出も目を見張るものがあり、女性の権利意識も高まってきております。

翻って、栄養士の周辺の変化はどうでしょうか。消費者としての一般庶民の食や栄養に関する知識や問題意識は非常に高くなってきております。生半可な知識や技術の栄養士では最

れば良いと言う時代は過ぎました。栄養士は栄養士業務を通して消費者である国民や県民に何が提供できるかが問われる時代になりつつあります。与えられた業務の中に問題点はないか、更に現在の業務が果たして時代の変化に的確に対応し適切に実施されているのか。従来、栄養士の最も欠けていた点は、業務の複雑さと多忙さを理由に業務の効果判定が的確に行われていなかったと言うことを痛感しております。会員の各自

会員名簿に寄せた愚感

教育養成部会 根津 仙之助

皆さんと共に輝かしい黎明期平成の二年目を迎え心からお祝詞を申し上げます。

この発想の理念は「正しい理論の上に立つ生活は最上の生活であるし、この信条に基づき更に「正しい栄養科学を適正に応用し指導する栄養士を育成し以て国民栄養の向上普及を図る」ことであった。

さて、旧冬入手した本会の平成元年刊行三三五名の会員名簿を拝見し、飛躍発展そのものの状況は誠に感銘を深くした。

当時、先生による学術的な栄養研究は、着々としてその偉業を世界に発展され、名実共に実績を高めた。今も尚栄養改善の焦点の一つであるバランスのとれた食事方法や、日本人栄養所要量、更に日本食品成分表、癌に有効なビタミンA等研究はこの当時発表された貴重なものであつ

私は、今から五十七年前昭和八年刊行の栄養士会会員録を古笈より取出し、昭和黎明期に思いを馳せた。日本中に普遍した栄養士の職種名が世界に魁て誕生したのが、昭和元年でこの年の有資格者は男性四名、女性七名だった。

勿論この職名の名付の親は、我が国の栄養学の始祖佐伯矩博士で、(世界的に有名な)初代の国立栄養研究所長でした。先生は旧私立栄養

終りに私の好む年頭の詩をかげる。

平成二年庚午吉日

新年

新年来り

門松白く光れり

道路みな凍りて

冬の凜たる空気

の中

地球は

その週暦を

新たにす

作 萩原朔太郎

平成2年 新春所感

会員録より

卒業年次	期別	卒業者	男性	就職
元年	1期生	14	4	
2	2	12	1	
3	3	8	4	
4	4	10	4	
5	5	20	7	
6	6	54	29	群馬県津根山梨県磯部氏
7	7	53	35	
8	8	29	13	
合計		200	97	

備考(本会員録に記載がないが昭和14年に14期生に満藤恒夫氏が山梨県衛生部に就職尚4期生に森川規矩氏7期生に茂木専枝氏8期生に田島次郎氏が卒業生であった。

た。又育成された栄養士は総て佐伯博士の命で任地に赴き、数々の研究や前期の資をフルに活用し行政・海軍・農村・学校・工場・刑務所等で素晴らしい改善効果を挙げ夫々報告したものである。之等栄養士のフィロドワークが実を結んだものか、昭和七年当時は殆んど主要都道府県に栄養士が派遣され、宮中呉竹寮に奉職する女性栄養士もあった。

佐伯栄養学校(昭和元年一八年間)の栄養士会員録概要(表)

一、客員・佐伯矩・斎藤壽雄・外
研究所各部長六名外二名(氏名省略)
二、会員一第一期から八期生までを区分して卒業者名と職場名の記録あり。

講師陣への感慨

佐伯博士を中心に各学科別の講師は、総て栄研で博士号を持つ各部長級の諸々たる先生で常に充実した講義を担当され、その感動は今も忘れない。

学生状況

先輩第一期生一五期生迄は、凛々

しい制服姿の海軍将校を始め、貴族のある中年輩の男性で女性には、佐伯先生の学問に傾倒された知名人の婦人を始め女子教育関係の方、オランダ公使官関係・朝鮮女学校職員が、折にふれて学校を訪問されてよく紹介された。

その後の六・七・八期には男性が増加したが、就職を目あてにした若い女性は今も少数だった。そして男性は当時の不況が全国的に逼迫した世相を醸し、当然食糧事情も悪化したため、この対策改善に貢献した栄養士の存在価値は十二分に発揮し得たものである。

私の繙いた栄養士名簿より、こんな愚感が思い浮んだが、迎えた輝かしい平成二年の初期に当り、私達栄養士の前に立ちはだかる複雑な課題は既に足もとに來ている。

さけて通れぬこの解決策は、衆知を集めて対処する必要を痛感する。これこそ山梨県栄養士会の飛躍発展を担う会員一人一人の自覚に期待するのみである。

飛躍の年 午年の会員に抱負をきく

午年も四週目ともなると男ざかりも少々下り坂とはいえるが反面、まだまだ若い者には負けられないぞという自負もある。あとひと回りするとお役御免という訳なので本当は貴重な午歳である。ボケとはほど遠い何か心に残る忘れるもののない年でありたいと願っている。と同時に遠くすぎ去ったいかなる労苦も平和な今日ではかくも美しく悲しき郷愁の念にかられるものなのか、時には懐かしい思い出として美しき幻影となつて自己満足の境地に浸ることさえあるの

政を退職して二十年、山梨県の公衆栄養推進部にいられていただいて五年の月日がたちました。そして四十ハ才の年女というわけです。長い間、子育てのためブランクがあり、タンスの奥からひっぱりだしてきた管理栄養士の登録証もセピア色となっていました。最初の一年は夢中で栄養日本をひろげ、専門書を読みあさり、地域栄養改善推進員の方々と輪をひろげ、栄養調査のお手伝いをして地域の食生活の実態をしりました。山梨での公衆栄養推進部会の仕事も五年目を迎え、健康まつりの事後指導の「高血圧の人の食生活について」の講話にも山梨なまりも自然と飛びだし、地域の人々とひざをわって話

易では叱られたり、難民にねらわれたり、国民は不幸感を味わった一九八九年でありました。景気は予想以上に永続し食生活にも問題がと偏食、子供の食生活にも問題が多彩で小児成人病対策が叫ばれる時代になりました。それにもまして国全体の苦悩は、急激な人口の高齢化

私の使命はいったい何なのだろうか、時々考えてしまう。
学校栄養士として十年。子供たちは未来をつくるんだ、教育の一環の中でその子供たちの健全な育成のためにはと、一途に取り組んでまいりました。まわりの調理員、先生方にも恵

新年明け
まておめ
でとうござ
います。早
いもので神

新年に思う
教育養成部会 根津美智子

前進・努力あるのみ
医療部会 川手鶴子

年頭所感

公衆部会 遊佐 渚

は一体何なのか、子孫孫に至るまで平和を願うものである。年頭に当たり活性年を燃やし人生悔いなしを誓うものである。終わりに山梨県栄養士会及び会員の皆様のますますの御発展をお祈り申し上げます。
(山梨医科大学病院)

せるようになりまして。仕事の積み重ねは地味ではありますが、確かな手ごたえがあり、責任もあることを最近感じはじめてきました。
今、社会情勢はめまぐるしく変化し、飽食の時代といわれ、成人病が増加し、高齢化が進んでいる中、今までの栄養士とは違った観点から、変化する社会状況を適確に把握し、氾らんした情報を正確な形で整理し、適切な栄養指導が要請される時代となると思います。公衆栄養推進部会が、これからより地域住民の人々に期待され、必要とされる栄養士をめざしていきたく願って、年頭の所感とさせていただきます。

です。人類ははじめて体験する長寿と高齢化の高さ、異常なほどの出生率の低下は高齢化を早めるばかりで国の施策が間に合わないかと心配されています。
平成時代もいよいよ本番、わが国独特のこの苦悩の解消に努めるべき時が来たと思います。現実的な工夫は、その特質からみて食生活からはじめるのが最適なやり方だと思えます。微力ではありますが、将来日本を担う若い学生と日々接し、共に勉強しつつ、一歩一歩着実に学問的にも足跡を残して行きたいと思えます。また人間的にも大成をめざして努力して行きたいと思えます。
(山梨学院短大)

飛躍の年 午年の会員に抱負をきく

飛躍の年
午年の会員に抱負をきく

還暦

公衆部会 林 芳江



「二十歳からあとは人間っていつても同じことを繰り返している

ものよ」という言葉を聞いたことがある、しかし同じ人間でも年令によって繰り返す方法がまるで違っているように思われることもあるが、人間のすることがその人の年令が長ずるに従ってだんだんましになると言うようなこともない、いや齢を重ねる程にましにならなくなる。ましになると思うのはそう思っているだけで、二十歳の時と同じことを何十歳になっても繰り返しているのかもしれない、最近私はそう思うことがある。
「還暦」辞書でひくと六十一歳の称、暦の上には六十年にて干支一周して元に復するより言う、ほんけがへり、とある。私も今年還暦を迎える。

六十歳を過ぎるということは何であらう。体力が衰える、女が女でな

くなること、もう恋愛もしないこと、朝起きて顔を洗い化粧をし髪を梳したまには着物も替えるがそれも単なる習慣でしかないこと、だとしたら……
女は自分の年令に関してまことに敏感である。そのため他人の年令に關しても非常に関心を持っている。「あのひと幾つか知ら」と、知ったからと言ってどうということもないのに
だから私は講習会などに行つての自己紹介の時は自分の年令を云うことにしている。会場が寸時ざわめきの反応も面白い。自分達よりずっと年上であるとか、自分と近い年令であるとか、思惑はいろいろであろうが全体の雰囲気がとてもなごんでくるからである。これは私が歳をとったからであろうか。
女の六十歳は季節で云えば秋の終わりの頃かも知れない。勿論花は咲かないし葉も散り始める。しかしまだ木の幹は裸と云う程にはならない、枯れ木になるにはまだ間がある。人生八十年時代、まだまだこれから頑張らなければ。

一九九〇年
新年に当たって
医療部会 中込文江
明けましておめでとうございます
平成二年の元旦、さすがしく晴れ渡った、甲府盆地、朝日にかがやいて、連なる山脈は、きびしく響え立つ、二十世紀のしめくくりの十一年の年明けとなりました。
「駒ヶ岳凍てて巖を落としけり」
前田普羅
急速に経済的に大きくなった日本は他国からうらまれたり、批判されたりしている様です。私達の住んでいる、山梨も大きなプロジェクトの始めにより山国から日本の山梨として急速に発展しています。
私も四十余年前、甲府の空襲の夜必死で甲府から田舎の実家へ歩いて命からがら帰ったこと、それから激動の昭和から平成へ私のささやかな人生の歴史とします。最近発表された学校保健統計調査による学童の体位は、今の男子の十三才・女子の十二才は昭和の始めの十七才に当てはまるとあります。子供の体格は競争による栄養不良などで終戦直後には、昭和の始め頃に逆戻りしたが、経済復興と共に回復し、特に中学生の体格向上が著しいとあります。

反面体格は大型化した、近視やぜんそく、虫歯などが増え続けているとあります。
これからの世の中経済万能でなく、文化といいますが、ゆとりや生活のエンジョイがなければ健全な生き方社会とはいわれず外国からも尊敬されないといえます。あり余る食品・グルメ時代の食生活・健康な生活には食欲・金ばかりではない食品の選択・安全などが重点となりました。健康人、病人各々健康を維持するには食生活が如何に大切な認識が高まっております。
栄養を担当する私達お互に常に自ら研鑽に努めながら、健康な社会づくりに少しでも役立ちたいと思えます。
(山角病院)
「午歳雑感」
永遠の平和を願う
医療部会 小山 巖
昭和から平成になつて二年目、ベルリンの壁もこれ、今年もますます世界的規模でのデタントと平和の時代に入るものと思われる。喜ばしいことである。
日本では昔から人生五十年という言葉があるが今日では人生七・八十

飛躍の年 午年の会員に抱負をきく

まれ、一步一步前進してきたと思っております。

ところが、三年前の突然の異動、この石和町では例のない学校と病院の交替でした。とまどう日々を何日か過しました。恥しい話ですが医療に關しては全く無に等しいのに、患者さんは待つてはくれません。疾病別の多様な献立、何がくるかわからない栄養指導、情けなくなる毎日でした。家に帰っては専門書をひもとき、現場では先輩の栄養士・調理員・事務職員・医者・看護婦さん、時には他病院の栄養士に励まされ、助けられて、一日一日と理解できるようになってきました。まだまだ、栄養指導で質問され、答えに困ったり、うまく教えられない時など、力量不足を感じざるを得ませんが、真剣な患者さんの顔、切実な気持ちを思うと、自分の仕事の責任を感じます。また勉強の一年がはじまりました。あたたかい仲間の応援をばけに、微力ながら社会に役立つようがんばっていききたいと思ひます。

(石和町立峡東病院)

「私の抱負」

福祉部会 井上さなえ

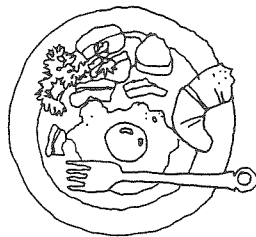


今年四月で保育所栄養士として四年目を迎えます。

とは生きていくための土台、体と心を育てるため重要な意味を持つと思います。バランスのとれた栄養摂取といろいろな食べ物の味覚を知る。正しい食習慣を身につけ、おいしく楽しく食べる食事作りを考えていきます。

自分一人の仕事ですので、偏ることのないよう、常に話し合うことを忘れず、広く意見を聞いていきたいと思ひます。講習会などへも積極的に参加し、勉強したいと思ひます。責任の重さを自覚し、かわいい子どもの健やかな成長のため、今年も努力していきます。

(増穂町役場保育所担当)



今年の抱負

産業部会 和田香織



私が今の職場で勤務するようになって、二年が過ぎました。

学校を卒業して、一年半程、今の職務の「栄養士」からは、ずいぶんとかげ離れている仕事についていた事もある、今の仕事についていた時は、場違いな所に来てしまったナというのが最初の感想でした。学校で習ってきた事務的な事など、最初のうちは全く意味がなく、とりあえずは、去年の献立表をそっくりそのまま写すだけの毎日。それも完璧にはできずに、厨房からの呼び出し。「栄養指導」という本来の仕事どころではなく、その日を振り省つては落ち込む毎日でした。

今、考えてみる、ムダな時間と仕事の段取りの悪さが仕事が遅い原因だった様な気がします。

今年は三年目。「まだ不慣れで」という言訳もそろそろ通じない年になりました。もう一度、仕事の基本的な足場を、研修会への参加や学生時代の書物等の復習によりかため、「足場ならし」より一歩踏み出した、栄養士という肩書きを背おえる様になりたいと思ひます。

今年馬年、私の年、広くかけまわり、見聞を広めたい。

今年自分期待しています。

(陸上自衛隊北富士駐屯地)

新年を迎えて

医療部会 依田真実枝



私が栄養士という道を歩んだから、三年が経ちました。

この間の社会は、高齢化・食文化の多様化・医学の発達・経済摩擦など著しく変化をしています。また、健康について大きく見直しをされています。

健康を回復又は維持させる為には、正しい食生活と適度な運動が必要です。無理な減量と激しいばかりの運動ではいけないようです。人々はマスコミにより、病気の恐ろしさと予防する方法や食事形態を知っています。生活に生かされることは少ないでしょう。昔ながらの食生活が悪循環している現在、子供の頃から正しい食生活を身につけたいものです。

私は、個人に適應した食生活を考え、コミュニケーションを図りながら、人々の健康のために貢献できるように、鋭い観察力と思考力と根気と豊かな心を持たなければいけないのではないかと感じています。原点に戻って、『食べる』ことが人間の喜びである』と言ってもらえるような

健康運動指導士に期待して

山梨県栄養士会の会員四名が資格を取得しております。指導者としての養成、資格の付与は厚生省が行います。期待される役割は、医学的基礎知識、運動生理学の知識に基づき個々人に適切な運動の指導を行い、日常生活に健康づくりに結びついた運動・成人病予防・健康増進のための運動を普及させること。個人の健康度、運動能力に応じて運動プログラムを作成し、医師・栄養士・保健婦とチームを組んで健康指導を行うことが任務です。

健康運動指導士に期待して

食事づくりや栄養指導を、少しずつでも着実にしていきたいと思ひます。終りに、皆様のご健康とご活躍を

お祈りいたしますと共に、これからもご支援をお願いいたします。

(加納岩総合病院)

健康運動指導士として
一年を過して

行政部会 四條さつき

『健康運動指導士』—私がこの言葉にはじめて出会ったのは昭和六三年三月でした。厚生省が六十三年度に向けて打出した「アクティブ80ヘルスプラン」の中ででした。日頃より自分自身でも運動不足を感じ、栄養と運動の相乗効果の必要性を感じていた私にはとても魅力的な内容であり、まさに飛びついたという感じです。(この日のうちに上司にこの講習会を受講したい旨申し出たのを覚えています。)ですから、十一月八日から一カ月の講習会があると

知り、日常業務に追われる中、多勢の皆様にご迷惑をおかけしながら受講させていただきまし。さらに、あたたかい指導と助言をいただきましたことを今さらながら深く感謝しお礼申し上げる次第でございます。

さて、その講習会を受講後、一年が経過しました。健康運動指導士としてさせていただいた講習会は昭和六十三年度十一回一九一名平成元年度二〇回一三〇六名という数です。予想以上に多いものでした。これは

「健康運動指導士の講習会を修了して」

行政部会 田中恵子

わが国においては、世界に類をみないほど急速な高齢化社会に突入しており、早くから成人病対策の必要性が認識されてきている。

「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活習慣の確立が健康づくりの基本であるとされ、さらに、運動を重視した健康づくりが打ち出され、国民の栄養過多と運動不足のアンバランスが一層明らかになってきた。

そして、毎日を健康で過ごすために、健康・体力づくりに積極的に取り組む

「運動」が目玉され、「運動したい」と思っている方が多いという事です。講習会でよく耳にするのは、「どのようにすればいいのかわからない」「きつかけがなくてできない」「運動する場所がない」「体が痛くなるからいや」「運動は苦手だから」というような声です。一般の方にとって運動というのはスポーツであり競技であるのです。健康づくりのための運動とは、自分に合った無理のない日常的で楽しくできるものであると私は思っています。この言葉にホッとした表情をされる方がたくさんいらっしゃいます。

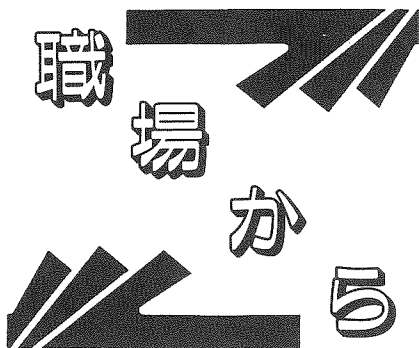
私がこの一年にしてきた講習会は

(大月保健所)

まなければならぬことが広く理解されてきている。

今回の講習会において、身につけた、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識、技術等を今後いかに実践に結びつけるかが大きな課題である。健康増進を図っていくために今後、運動を中心とした幅広い健康づくりが重要となってくる。そのためにも、地域での健康づくり活動は、参加を強要することなく一人一人の選択と自主性を尊重し進められてい

職場から



学校栄養士のひとこま

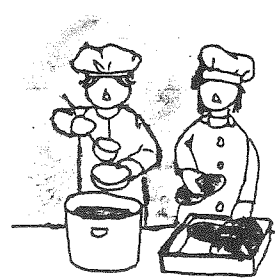
学校部会 尾上葉子

平成元年二月、横浜市で開催された学校栄養士部会全国研修会で、今も印象に残っているのは、単独校栄養士の発表で、先生方の理解のもとで、クラスの授業として積極的に栄養指導にとりくんでいる内容は、大変感動しました。また、同室に宿泊された先生は、指定休を利用し

て、コンピュータの勉強をつづけて、献立を、すべての個人用のソフトに入れてあるので、二時間程で作ってしまう。あとの時間は、現場指導や料理研究ができる。給食時間は、現場指導や料理研究ができる。給食時は、食堂で一斉に食べるため、毎日、栄養士の五分間コーナーが設けられてあり、栄養や食品の話を楽しく工夫している。献立におられることなく、細かい仕事までできる話にも、驚かされました。

本校においては、今年の調査で、(1)、家庭における食品の摂取状況を把握し、不足している食品を給食の献立にとり入れていく事。
(2)、児童の好き嫌い調査から、全体的に嫌いな食品の多いものについて、献立に登場する機会をとり、屋の校内放送で指導する。
(3)、お年寄りや、両親の子供の頃のお弁当や懐かしい食物にどんなものがあるか、作り方を調べ、食事のやり変わりを知る。

これらは、木曜日の調理クラブの



(谷村第一小学校)

指導や、給食委員会の児童の活動の源となります。

十月と一月には、全校集会があり、食品の栄養と働き、バランスのとれた食事を理解させ、食事マナーや給食に関する指導が、一校時つづつ組まれています。肥満児も七割おり、血圧測定や血液検査が行なわれている現在、その指導も必要となってきました。

県下で最大食数の学校給食、富士吉田市もこの六年で千二百食減。本校の谷村第一小学校でも、ここ十年間、約一クラスづつ消えていった現状です。食数からも現実の若年層の減少を知ることが出来ます。現在は、飽食の時代、肥満、ストレスによる拒食、好き嫌いのばげしき等の問題もあり、これからの高齢化社会を担う児童に対して、学校給食は、今までの全体的な指導から、個々の食生活指導に変わりつつあります。家庭との連携をもちながら、元気な児童と共に頑張っていきたいと思っています。

歴史の重みを噛みしめて

教育養成部会 深澤早苗

本学の歴史をひもとくと、四十年余り前にさかのぼる。

昭和二十一年、女子の家政学を修める山梨実践女子学院として発足した。二年後、栄養士養成施設指定を受け、山梨高等学院栄養科と改名され、さらに同二十六年、短期大学の認可以来、栄養士養成を柱とし今日に至る。

本学の教育目標は、「智と情と勇気をそなえ実践を貫いて社会に貢献する女性を育成する」ことにある。

この目標のもとに、専門的な基礎知識と技術をもつ栄養士や幅広い教養を身につけた豊かな女性の育成を目指してきた。最新情報を駆使した専門科目の講義、あるいは実験・実習、人間性を高めるための数々の特殊講座の開催、思考力や独自性を養うための卒業レポート作成などをおし、「かしく・やさしく・つよく」を実践してきた。現在、県内あるいは県外のあらゆる職場において多くの卒業生が活躍している。

同時に短期大学は、地域社会と共に歩まねばならない。本学では今年度二つの講座を開講した。一つは「管理栄養士国家試験受験準備講習会」であり、今年度四回目を迎える。この講座は、卒業生を含む県内栄養士の管理栄養士資格取得のための学

健康運動指導士に期待して

くものである。

住民自身の創意工夫により健康づくりのための運動を進めていくため、地域で「健康まつり」などイベントを行い、関心を高めたり、様々なサークルによる住民活動を広げていき、生涯を通して学習するための事業の研修や施設がもっと提供されるべきである。また、健康づくりのための運動を実践し普及するためのマンパワの確保も忘れてはならない。

運動とは、成人病を予防し、健康や体力を維持向上させるばかりでなく、家族や地域の人達とのふれあい

健康運動指導士になって

行政部会 平井美樹夫

一ヶ月の研修を受け、試験にも無事合格し健康運動指導士となりました。これで栄養と運動の二足のわらじをはくことになったのです。この栄養と運動は非常に関連があります。特にエネルギーの面では栄養がプラスとなり、運動がマイナスとなり、これらの差がプラスになれば脂肪となつて貯えられることは御存知のとおりです。ただ気をつけていただきたいのは、エネルギー面だけといった狭い視野だけにとらわれていないで、もっと大きな目で見てほしいのです。その大きな立場が健康づくりなのです。健康づくりにおいて、栄養と運動は健康という山を登っている

の場をつくり手段としてもまたより多くの人達とふれあい仲間を増やして豊かで活力のある地域社会を築いていくためにも重要である。

今後、指導者としての資質向上につとめ、「運動」を教えることだけでなく、人々が日常生活において積極的な生活を送る姿勢を見出せるよう指導できたら素晴らしいと思う。

そして、人と人との出会いを大切にし、人間的にも尊敬され信頼されるよう努めていきたい。

(甲府保健所)

く友人同志であり、互いにはげましあう切っても切り離せない関係なのです。ですから健康運動指導士でない栄養士についても、栄養はもちろんのこと、ぜひ運動にも興味をもつてほしいのです。

ところで、運動といってもいろいろな種類がありますが、私たちは健康づくりのための運動を指導するわけですから、これは先に発表された「健康づくりのための運動所要量」を見てもわかるように、今までの運動のイメージにあらがちな「根性と努力で勝負に勝つ」とか、「体を筋肉でモリモリにする」といったことではなく、無理なくでもニコニコペー

スで有酸素運動をし、ある程度の全身持久力をつけるためのものなのです。その中で一番簡単で、いつでもどこでも、だれでもできるのが「歩く」ということです。しかし、フィットネスクラブ・テニス・ゴルフ・ゲートボール等、金を出してでもやりたいという華かなスポーツがははんらん

エアロビクスな運動をやる

行政部会 田草川憲男

昨年の十一月中旬から十二月にかけての三十三日間、厚生省主催の「健康づくりのための運動指導者講習会(健康運動指導士コース)」を関係者の御協力により受講することができたので、その状況を御報告いたします。

本講習会の目的は、成人病の発生予防、積極的な健康増進を図るため、運動習慣の普及に重点をおいた「アクティブ80ヘルスプラン(第二次国民健康づくり対策)」の一環として、運動指導のためのマンパワーの確保をねらいとしている。

講習会の内容は、呼吸・循環器系の生理機能の維持向上を図ることに、より、動脈硬化・心臓病・高血圧等の成人病を予防し、健康水準を保持・増進するという観点から、医学的基礎知識、運動生理学の知識等に立脚しつつ、個人個人の身体に合った運

している現在、歩くという地味なものを長く続けてもらえるかが心配です。けれども手を交え品は変え、根づかせるようにしていくのが健康運動指導士のつとめですので、がんばっていききたいと思います。

(下日部保健所)

連 盟

さきに、日本栄養士連盟山梨県支部役員会が開催されました。議事は次のとおりです。その状況をお知らせします。

連

盟

- (1) 日 時 平成元年十二月五日
(火) 十三時三十分
- (2) 場 所 山梨県栄養士会事務所
- (3) 出席者 深山支部長・長田副支部長・藤巻副支部長・小沢副支部長・中村財政部長・平嶋方里幹事・佐藤文子幹事・井上幸子幹事・竹口監事・斉藤監事
- (4) 議 事

① 栄養士の労働条件に関すること。

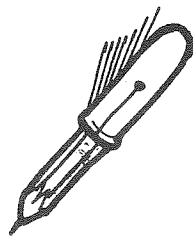
議長(支部長) 栄養士の社会的評価が不当に低いことが常に問題になり、幾つかの因子が想定されて論議されているが、栄養士の労働条件が他の職種に比べて極めて劣悪であることが、栄養士の仕事の成果と悪循環であることもその一因であることも否めない。

そこで、「栄養士のゆとりある効果的労働条件の確立」が本年度の重点事業として、総会で決定されておることは、ご承知

② 衆議院議員選挙について

政治の世界は「一寸先は闇」とよく云われるが、内外の激動に伴って、わが国の政界も流動し、年内衆議院解散の声も高まり、県内においても、立候補予定者の活動が活発になり、本会

のなかにも、会の決定がないと立場に困るという者もある。然し、このような重大なことは、総会を開いて決定すべきだが、総会を開いても多数の会員の出席も期待できないし、本部からの指示もないので、役員会に討議の結果、政治の可否は、直に、国民生活に重大な影響を及ぼすものであり、栄養士は、給与生活者であり、将来は年金生活者になるものであること。栄養士の今日の実態を検討し、悔を千載に残すことのないよう慎重に対処すべきであること。又、先の参議院選挙において、署名活動が、役員の再三の督促も空しく目標を遙かに下回ったこと等に鑑み、役員会において決定し、これを会員に押しつけるようなことは望ましいことではない。これを強行すると組織の分裂の恐れもある等の実情により、自主投票にすることに決定する。



事務局だより

習の場である。もう一つは、料理講習会を中心とした「公開講座」である。これらは、地域社会との交流と社会人の生涯教育に視点を置いたものである。

整備された敷地内には総合図書館があり、無料で一般開放されている。各学問領域にわたる専門図書を所有し、学術誌等も数多く収集されている。

飽食時代といわれる現在、食を含めた健康への関心が高まっている。四十年前育んできた若木が葉を繁らせ、木陰に集える大樹となるよう、一教員として今後も絶やまぬ努力を続けてゆきたい。

(山梨学院短大)

事務局だより

1 会費納入についてのご案内

会費は会運営の基本財源です。○平成元年度末納会費は至急、次により納入してください。
(納入時は会員番号を必ず記載してください。)

* 山梨中銀甲府駅前支店・普通預金講座二八七二九六
* 郵便振替・口座番号九一六七九五

○平成二年度会費の取扱いについて

(山梨県栄養士会定款施行細則に会費は前年度の三月三十一日までに納入しなければならぬと規定されております。ご承知ください。)

2 管理栄養士国家試験準備講習会のお知らせ

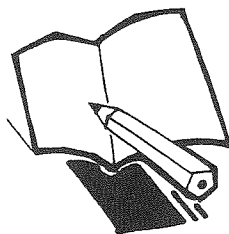
○日程時間 二月十二日(月)
二月二十五日(日)
三月十一日(日)
三月二十五日(日)
各午前九時から午後四時まで
○講習会場 山梨県総合婦人会館
(甲府市朝氣一・二二)
○講習科目
第一日: 受験上の留意点
学習要領・生化学

3 平成元年度栄養改善大会(減塩推進大会)開催

主催 山梨県・山梨県栄養士会・山梨県栄養改善推進員連絡協議会
期 日 二月一日(木) 午前十時から午後三時まで
会 場 山梨県民文化ホール(小ホール)
内 容 式典・栄養改善活動事例発表・栄養士の活動事例(沢登京子公衆栄養推進部会長・外栄養改善推進員)
△午前十一時十分〜十二時▽

記念講演: 「健康づくりと食生活」 東京農大教授
(赤羽正之先生)

△午後一時〜四時四十五分▽



☆ 賛助会員 ☆ (順不同)

平成2年1月末日現在

商 社 名	電話番号	代表者氏名	業 務 内 容
イカリ環境サービス(株)	0552-41-1755	宮沢公広	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	0552-22-1153	名取忠信	食器、厨房機器
上田商店	0552-66-2331	上田昭雄	ソフクリーン、もずく、煮豆
魚日出(株)	0552-35-7648	山田日出男	鮮魚卸、小売り
大塚製薬甲府出張所	0552-76-8581	針生均	ハイネックス、ポカリスエット
オギノ食糧(株)	0552-22-5181	荻野恒男	給食材料
(有)オザワプリント社	0552-35-6010	小沢孝男	印刷
(株)三和化学研究所甲府営業所	0552-73-6521	太田徹	サンエットA・サンエットL・サンゲンラクト
キューピー(株)関東支店	03-320-0800	原田純男	ジャネフ、ヘルスフード
甲信食糧(株)	0552-73-4561	中込豊秋	惣菜用食品材料卸
甲府東洋(株)	0552-73-2511	大沢康二	即席カップめん
シキシマ醤油(株)	0552-73-6844	天野製薬富	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信濃化学工業(株)	0262-43-1115	小野清	食器、トレイ
武田食糧(株)	0552-35-1141	武田辰男	醤油、給食材料
(株)日新厨房企画	0552-73-3881	井上寛	厨房企画設計管理
白麦(株)	0556-2-2121	長沢利久	麦の総合食品メーカー、「はつらつ」
ファミリコマー	0552-33-0121	二子石宣威	食品、雑貨スーパー
(株)平安閣	0552-22-1111	秋山章	結婚式場、儀式産業
みしな食品(株)	0552-28-1347	三科喜男	総合食品卸
宮坂醸造(株)	0552-41-8181	宮坂伊兵衛	味噌
湊興(株)	0552-26-3742	飯島忠	鮮魚、煮貝
株式会社マルハチ村松	0546-22-7371	村松善八	鰹の素、だしの素
森永乳業(株)東京支社甲府営業所	0552-73-3249	増田敏雄	ミルク、乳製品
山梨県製麺協同組合	0552-26-6768	石原竹市	製 麺
山梨県豆腐商工組合	0552-28-1675	菊原甲子男	豆腐、大豆加工品
山梨ヤクルト販売(株)	0552-37-8960	上田俊一	健康科学ヤクルト
(株)やまひろ	0552-51-1121	広瀬順作	総合医薬品卸
雪印乳業(株)甲府営業所	0552-51-7311	木村義男	ミルク、乳製品
北沢産業株式会社甲府支店	0552-26-2800	森沢茂男	厨房設計管理
山梨県牛乳協会	0552-22-5144	斉藤正健	牛 乳
第一出版株式会社	03-291-4576	栗田元	書 籍
山梨食品	0552-66-5175	成沢政則	給食材料、厨房機器
山梨リコー株式会社	0552-73-7151	加藤卓	ワープロ、パソコン、コピー
新日本法規出版(株)	03-269-2220	河合善次郎	栄養関係法規、栄養コンピューター
株式会社マインド	03-498-3024	三角立行	カルシウム強化米
スリーライン株式会社	03-433-0021	岩嶋徳	プラスチック業務用機器
中央法規出版株式会社	03-359-3861	莊村多加志	食品衛生、栄養関係書籍出版
三信化工株式会社	03-861-4331	鳥谷好夫	メラミン、ポリプロ食器
武田薬品工業(株)東京食品営業部	03-278-2683	赤松順一郎	強化米「新玄」
(株)ニチブン名古屋支店	052-204-1505	原野克己	ビジュアル栄養科学事典、「サルビオ」
三島食品(株)東京営業所	03-317-1212	日名田俊文	ふりかけ、レトルト食品
林原商事(株)東京営業所	03-235-0661	角南佐利	特殊栄養食品、低エネルギー食品「マービー」
ブリストル・マイヤーズ(株)	03-491-6671	森野康雄	アイソニック液状栄養食「アイソカル」
(株)京都科学東京支店	03-253-2861	中島恭助	食品模型
(株)創学社	06-311-5013	藤若重治	書籍グループ・フィーディング
(株)東京書房	03-263-3317	小松世和	世界栄養文化大全

賛助会員のページ



全国で愛用されている
信濃化学の
給食用プラスチック食器

好評発売 保温食器 (飯丼、汁椀大小、菜皿、コップ)

民芸調メラミン食器 益子 (特許第941944号)

フォイル絵付メラミン食器 ◆タフトレイ (FRP角膳)

ダブルカラーポリプロ食器 六花 ◆ポリプロ食器

透明食器 (ポリカーボネート製) ◆流動食コップ (700, 400, 250, ml)

重度心身障害者用食器 ◆食札ケース (大・小)

製造直売

JIS表示許可工場

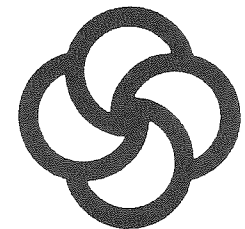
信濃化学工業株式会社

〒381 長野市大字古野583番地 TEL 0262-43-1115(代)

FAX 0262-43-1520

おいしい暮らしのエッセンス。

ShikiShima



シキシマ醤油株式会社

山梨県中巨摩郡田富町流通団地3丁目1-1 〒409-38

電話 (0552) 73-6844(代) FAX (0552) 73-0460

賛助会員のページ

カンナのいらない鯉節

焼

津



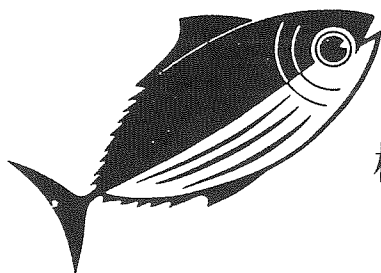
鯉

の

素

(だしの素)

パウニー



【製造発売元】

静岡県焼津市城之腰65の1

株式会社マルハチ 村松

TEL 0546-22-7200 代表

東京築地
直入

高級鮮魚卸



甲府市相生二丁目 3-16

電話 0552(35)7648(代)